

鳥取砂丘コナン空港と周辺観光地等を結ぶ  
二次交通改善活動プラットフォーム 令和6年度第1回全体会議  
議事要旨（概要版）

1. 日 時：令和6年9月6日（金）10:30～12:00

2. 場 所：鳥取空港国際線ターミナルビル 2F 会議室

3. 議事概要：

令和5年度の取組状況の総括、令和6年度の取組み内容について協議した。構成員からの意見は次の通り。

①今年度の全体的な取組みについて

- ・電動キックボードについて、15分で250円という値段設定が、来訪者や県民にとって高く感じる。鳥取港での滞在を想定すると、貸出時間2時間で2000円となり、利用がしづらい。料金体系の見直しや割引券等の発行で、利用しやすい方法を検討する。
- ・また、周知の強化、ターゲットを明確にし、移動手段ではなく、アクティビティーの一環として、利用と料金をセットで考える点も重要である。
- ・人流分析による市内の拠点間移動の利便性向上は、県外来訪者と県内居住者で分けて傾向を把握すべき。県民、市民がもっとバスを利用しないといけない、という議論に持っていく必要があると考え、そこにつながる分析が重要である。

②ANA「旅CUBE」に係る取組みについて

- ・SNSでのPR、観光HPとの連携、キャッチフレーズ（迷ったら鳥取）をうまく活用し、旅CUBEの周知拡大が望まれる。
- ・電子チケットについては、ANA以外でどれだけ頑張るか、が重要である。券売機の横に電子チケット買えると貼る、紙のチケットにも書くなど、買ってしまった人に促す仕掛けが必要である。現場での地道な努力をお願いしたい。
- ・観光と食事はセットになるので、食事の案内（例えば美術館の周りのレストラン、スイーツなど）が連携して出せるサイトになるとよい。スケジュールを決める際も重要となる。また、鳥取はGWでも8月でもなく、11月が一番お客さんの動きは大きいので、ぜひ11月に向けて準備を進めていただきたい。

③共創・MaaSプラットフォーム事業について

- ・今回の実験では鳥取港から空港まで品物を運搬するが、品物運搬に料金を加算する場合、貨客混載の制度の扱いとなり、道路運送法上の制約もあるため、料金は加算しない。

- ・今回の事業では効果測定として具体的な KPI の設定が必要となる。定量化が難しい場合は、関係者の主観でも良いので、効果の見える化が必要である。

#### ④その他の意見

- ・本プラットフォームの活動とは直接関係しないが、ANA にお聞きしたい。先日の台風で東海道新幹線が止まった。このような事態はこれから毎年起きうる。その際に、いろんな人が代替手段を考え、ANA も臨時便を飛ばしている。鳥取空港がその代替路として活用できないか。東京から大阪まで、北陸新幹線周りで 4 時間かかわるが、鳥取経由でも変わらない。臨時便は飛ばさず、案内で済む範囲で、MaaS と連携して検討いただきたい。

以上